

ご利用の方へ**○2020年度の移行措置による学習内容の追加について○**

2020年度の移行措置により追加及び省略される学習内容がございます。本資料は、2017年度の文部科学省発表内容をもとに、2020年度に追加及び省略される学習内容について、解説したものです。

ただし、学校での学習内容と本資料の内容が異なる場合がございます。

ご了承ください。

【追加の内容】

- ・第1分野「力のはたらき」を学習する際に、「2 力のつり合い」の追加。
- ・第2分野「火山と地震」を学習する際に、「自然の恵みと火山災害・地震災害」の追加。
- ・第2分野「植物の生活と種類」を学習する際に、「動物の仲間」の追加。

【省略の内容】

- ・第1分野「力のはたらき」を学習する際に、「圧力」の省略。
(翌年の第2学年、及び翌々年の第3学年で学習します。)
- ・第2分野「植物の生活と種類」を学習する際に、「葉・茎・根のつくりと働き」の省略。
(翌年の第2学年で学習します。)

次ページ以降の補充問題の答え

- ①つり合っている ②等しく ③反対 ④同一直線 ⑤垂直抗力
⑥プレート ⑦津波（海底地すべり、災害でも可） ⑧溶岩流 ⑨火碎流 ⑩火山灰
⑪地熱
⑫肉食 ⑬草食 ⑭雑食 ⑮水中 ⑯陸上 ⑰卵生 ⑱胎生 ⑲変温 ⑳恒温
㉑うろこ ㉒うろこ ㉓羽毛 ㉔毛 ㉕えら ㉖肺
㉗無脊椎 ㉘外骨格 ㉙節足 ㉚昆虫 ㉛甲殻 ㉜外とう膜 ㉝軟体

物体が動かないための条件

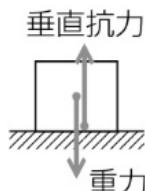
●次の□にあてはまる語句を答えましょう。

1つの物体に2つの力がはたらいて、その物体が静止しているとき、
物体にはたらく力は^①□という。

また、2力がつり合っているとき、2力の大きさは^②□、
2力の向きは^③□であり、2力は^④□上にある
(作用線が一致する)。

例えば、机の上に置いた物体にはたらく重力は、机から物体にはたらく^⑤□とつり合っている。

つり合っている2力は[同一直線]上にあり、向きは[反対]で、大きさは[等しい]です。



※矢印が重なるとわかりにくいため、少しづらしてかいてある。



自然が人間の生活におよぼす影響

●次の□にあてはまる語句を答えましょう。

地震や火山活動などによる大地の変化は、^⑥□の分布や動きと関連している。

海底下に震源をもつ大規模な地震は、^⑦□をともなうことが多い。

火山が噴火すると、^⑧□が家屋や森林
を消失させることがある。^(⑨)は山麓では
比較的ゆっくり移動するので、避難できる時
間があることが多い。一方、火山灰などが高
温の火山ガスとともに流れ下る^⑩□は、
高速で移動するため非常に危険である。また、
^⑪□が厚く降り積もったところに雨が
降ると泥流を起こすことがあり、麓を埋め
てしまうことがある。

火山の高温の蒸気や温泉水を、^⑫□
発電に利用することもある。



▲火山の噴気孔（宮崎県えびの高原）

噴気孔のまわりの黄色い結晶は硫黄。

自然の[災害]や[恩恵]のしくみを理解し、自然との[共生]を考える必要がありますね。



脊椎動物のなかま

●次の表の□にあてはまる語句を答えましょう。



分類名(動物例)	ぎょうるい 魚類(フナなど)	りょうせいりい 両生類(カエルなど)	ちゅうるい は虫類(カメなど)	ちょうるい 鳥類(ハトなど)	ほにゅうるい 哺乳類(ウマなど)
生活環境	⑯	子(幼生)は水中 親(成体)は陸上	⑰		
子の生まれ方	⑯				
体温	⑲		動物	⑳	動物
体の表面	㉑	湿った皮膚	㉒	㉓	㉔
呼吸器官	㉕	子はえら 親は肺と皮膚	㉖		

草食動物と肉食動物 (哺乳類)

●次の文中の□にあてはまる語句を下から選んで答えましょう。

おもに他の動物を食べる動物を⑭□動物、

おもに植物を食べる動物を⑮□動物、動物も植物も食べる動物を⑯□動物という。

語群 [草食、肉食、暴食、雑食、非常食]

(⑭) 動物は[犬歯],
(⑮) 動物は[臼歯]が大きく発達しています。



無脊椎動物のなかま

●次の文中の□にあてはまる語句を答えましょう。



背骨をもたない動物を⑰□動物という。(⑰) 動物のバッタやザリガニの体は、じょうぶな殻のような⑱□でおおわれている。

体やあしが、多くの節に分かれている動物のなかまを⑲□動物という。(⑲) 動物のなかで、セミなどのなかまは⑳□類、エビやカニなどのなかまは㉑□類という。

イカやタコの内臓は㉒□でおおわれ、このような動物のなかまを㉓□動物という。

